



センターニュースをお読みの皆様へ

辰年は陽気が動き、万物が振動しながら活力旺盛になる年と考えられています。元旦には能登半島地震から始まり、2日には航空機事故、3日には福岡の大火災等の多くの災害の年明けとなりました。新年早々被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。辰（龍）は架空の生き物ですが、縁起の良い生き物であります。これまでの努力が実って夢が叶う、大きな成果を上げることが出来るとも言われて

います。今年はここ数年の身動きが取りづらかった状況から脱却し、変化を恐れず、職員が一丸となって前進し、さらなる発展を成し遂げたいと思っています。どうぞよろしく願い申し上げます。

事務部兼支援部 部長
森久保 真由美

難病児のためのおもちゃセット

あそびのむしをご寄贈いただきました

東京おもちゃ美術館 & 日本財団の共同事業に「あそびのむし」という事業があるのをご存じでしょうか。難病のこどもたちに時を忘れてあそんでもらおうとご家族の発案で始められた企画です。当センターは一昨年の秋に応募しました。選考の結果、今年度11月末に数多くのおもちゃを送っていただきました。おもちゃは「じっくりと向き合って遊ぶおもちゃ」「他者との遊びを広げるおもちゃ」「音で遊ぶおもちゃ」「大人も遊べる

おもちゃ」のコンセプトに分かれて4箱に収納されていきました。今後は、展示コーナーを設置しておもちゃを紹介しつつ、幅広く活用できるように整えていく予定です。楽しみにしてお待ちください。

(編集委員 清水 信夫)



大谷翔平選手からの寄贈

グローブ見にいこうぜ!

全国の小学校に大谷翔平選手がグローブを寄贈した話が広がる中、東京都立多摩桜の丘学園島田分教室にもグローブが届きました。分教室の先生方のご厚意により、分教室に通学していない利用者様にもグローブを実際に触れることができるコーナーを設けていただきました。グローブと一緒に大谷翔平選手からの「野球しようぜ!」のメッセージ付きです。病棟では「グローブ見にいこうぜ!」と交代でグローブを目的に出掛ける姿が多く見られました。実際にグローブを触ったり、記念写真を撮ったり、ご家族が購入くださったエンゼルのユニフォームを着て出掛けたり…各々楽しむことができました。



生徒さんに夢を与える大谷翔平選手のグローブ。島田の利用者様もたくさんの笑顔と元気・喜びを共有させていただくことができました。春からドジャーズで活躍する大谷翔平選手を応援することがこれからの楽しみです。「グローブ見にいこうぜ!」今日もそんな声が聞こえます。大谷翔平選手への感謝と共に、島田分教室の先生方にも感謝申し上げます。

(療育主任 下村 毅)



クリスマスコンサート

12月17日(日)音大生による「クリスマスコンサート」を開催しました。

「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」など、クリスマスシーズンに相応しい曲の数々に、懐かしさや季節の雰囲気を感じた利用者様が多くいらっしゃったのではないのでしょうか。手首に鈴を取り付けてピアノを奏で、手話を交えて歌を披露するなどの利用者様の楽しみを意識した演出に、みなさんの温かい思い遣りの気持ちを感じました。今回のコンサートを機会に、ますます縁を深めていきたいと考えています。

学業に忙しい中、当センターにお越しいただき、素敵な音楽を演奏していただいたことに深く感謝を申し上げます。
(編集委員 清水 信夫)



ぱらあーと ～第33回多摩市みんなの美術作品展

12月3日(日)～10日(日)に多摩センターにあるパルテノン多摩を会場に、作品展が開催されました。当センターからは、ほっとステーション活動で作製した

陶芸作品や和紙のはがき、病棟の余暇活動でコツコツと作り続けてきた点描画やフェルトの髪飾りや絵画の作品が展示されました。作品の素材にも工夫を施した個性的な作品の数々には、利用者の皆様と職員の遊び心が滲み出ていました。

(編集委員 清水 信夫)



年末年始のお散歩スポット

12月28日(木)～1月3日(水)までの6日間に厚生棟ロビーを活用して、お楽しみ散歩スポットを設けました。今年は美術作品展の作品他、イベントで使用したゲームや様々な装飾をロビーに飾りました。年賀の御挨拶他、折紙グループで制作した折紙、個別の取り組みで作った刺繍やカラフルな装飾で満たされ、散歩に訪れた利用者の方々の目を楽しませてくれました。

(編集委員 清水 信夫)



恵泉女学園中学校

クリスマスの奉仕活動

12月21日(木)、恵泉女学園中学校の生徒6名と引率職員2名の皆さんが奉仕活動に来てくださいました。最初に島田療育センターの紹介映像を見ていただき、利用者様の生活や病棟職員との関わりの様子など、当センターについて知っていただく機会になったと思います。

その後の清掃活動では、寒い中普段なかなか手の行き届かないセンター内を綺麗にしてくださいました。

今回の奉仕活動を通して、中学生の皆さんに社会福祉について知っていただくきっかけになれば嬉しく思います。

(事務部 関 泰章)



寄付・寄贈のご報告

ご寄付 プリンセススクウェア様より100万円、社長の出口博俊様 個人より500万円、税理士古田土会計様より200万円、ご寄付を頂きました。島田療育センターへの温かいご支援を、心より感謝いたします。

ご寄贈 島田療育センターを守る会様より、利用者様へは12月9日(土)のクリスマス会のデザートとして、「ル・ジャルダン・ブルー」のクリスマス・ムースを頂きました。また職員へは、「ぐりーんぴーす工房」のクリスマス・クッキーを頂きました。毎年変わらぬご厚意に感謝いたします。(編集委員 田中 和恵)



こんなときどうしよう?
発達相談Q&A

お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q

今、子どもは1歳6か月です。これからやってくる、いやいや期の心構えを教えてください。



A

いやいや期を迎えるということは、お子様が順調に発達されている、とても喜ばしい事です。概ね、1歳半から、3歳半ごろに、それまでのお子さんのご様子とは異なり親御さんが何を言っても「いや！」という時期がやってきます。これは、自分がやりたい、という自己主張が芽生えたことの表われです。

まずは、今までの子育てがうまくいき、自己主張、自己選択をする力の芽が育っていることを大いに喜んで

いただきたいと思います。

次に、例えば、「このズボンは嫌なのね」とお子さんの気持ちを一旦受けとめ、「Aのズボンと、Bのズボンのどっちを履かな？」と実物を見せながら選択肢を示し、お子さんが選び、それを実行してみてください。そして、どうしてもお子さんの主張を通せない場合には、簡略に理由を伝えて「今はこうするよ」などと親御さんがやって欲しいことを再度淡々と伝えて、譲らない、ということも必要になります。

(臨床心理科 鈴木 清子)



e-ラーニングシステムを導入しました

10月より、センター職員の教育環境を整えることを目的としたe-ラーニングシステムを導入しました。医療・介護分野の教材を数多く揃えている学研メディカルサポートのシステムを導入し、全職員が利用できるようにしています。すでに全体研修への利用も始まっているほか、自宅や休憩時間など好きな時間に利用できるようにするため、自己研鑽としての活用も期待されています。

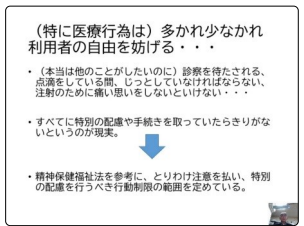
(学術研究・研修部 神田 水太)

AA. 基礎研修コース	研修期間 / 2023/03/25～2024/03/31
AB. 中堅コース	研修期間 / 2023/03/25～2024/03/31
AC. 看護管理コース	研修期間 / 2023/03/25～2024/03/31
AL. 看護共有コース	研修期間 / 2023/03/25～2024/03/31
BA. 看護補助者研修コース	研修期間 / 2023/03/25～2024/03/31
BB. 看護研究コース	研修期間 / 2023/03/25～2024/03/31
BC. 重症症、医療・看護の高度コース	研修期間 / 2023/03/25～2024/03/31
BD. 認知症・高齢者コース	研修期間 / 2023/03/25～2024/03/31
CL. 院内全職種研修コース	研修期間 / 2023/03/25～2024/03/31

虐待防止研修を開催しました

令和5年度もWEB視聴による研修となりました。全職員対象で、受講期間は12月4日(月)～12月31日(日)でした。MAPCAP委員の野村 務部長による、「行動支援計画策定のための行動制限の最小化マニュアルのポイント」と題した講義を行いました。

視聴後、各自講座内の課題レポートに回答して受講終了となりました。2月にも2回目の虐待防止研修を予定しています。(MAPCAP委員会 宮田 雅美)



感染対策研修を開催しました

今年度導入されたe-ラーニングシステムを利用して院内感染対策委員会の2023年度第2回全体研修を行いました。全職員が対象でテーマは「学び直しの標準予防策(スタンダードプリコーション)」です。コロナ禍の前半は個人個人が感染対策を徹底した事でコロナ以外の感染症は世界的に激減しました。1月現在、コロナもインフルエンザも再び流行しはじめました。もう一度感染対策の基本を確認し感染拡大に備えましょう

(院内感染対策委員会 中野 智子)

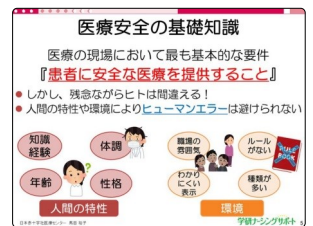


医療安全講習を開催しました

2023年度 第2回医療安全講習は自宅でも受講可能な学研e-ラーニングを利用し、忙しい中でも受講しやすいようにとの試みで期間を3カ月という長期にしてみました。

今年度、当センターのインシデント・アクシデント報告でも増加傾向だった患者誤認をテーマにした「医療安全～患者誤認による重大事故を中心に～」という講義内容です。医療機関ではどの日常業務でも起こりうる患者誤認について、想定されるアクシデント事例を見て、今後の誤認防止に繋げていただければと思います。

(医療安全管理委員会 中野 智子)



地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL **042-374-2101**(直通)

費用は 無料です。お気軽にお問い合わせください。

季節の彩り



2月の装飾は節分がテーマです。装飾ボランティアの高橋様から提供いただいた作品ですが、鮮やかな色彩と可愛らしいフォルムにはファンが絶えません。細かいカットにも工夫があり、楽しく見ることができます。今度、療育部前に見にいらっしやいませ。

発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 **島田療育センター**
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方はこちらから

島田療育センター



フォロー



フェイスブック

